

貧酸素水塊速報 (2015年)

【発行】 ○ 千葉県水産総合研究センター 千葉県農林水産技術会議
 神奈川県水産技術センター 内湾底びき網研究会連合会
 【協力】 千葉県環境研究センター ○ 東京都環境局
 第三管区海上保安本部 (独)国立環境研究所
 ○ モニタリングポスト(海上保安庁, 国土交通省 関東地方整備局)
 (今回の速報は“○”の機関の観測データを使用して作成しました)

平成27年6月29～30日観測結果

貧酸素水塊は内湾北部から中央部の広範囲に分布しており、北部の観測点の多くが溶存酸素量1.0ml/L以下と強く貧酸素化しています(図1)。

鉛直的に見ると、溶存酸素量2.5ml/L以下の水塊は海底から5～10mの厚みを持ち、その規模は直近10年の平均を上回るほど発達しています(図2、3)。

今後この水塊の動向に注意が必要です。

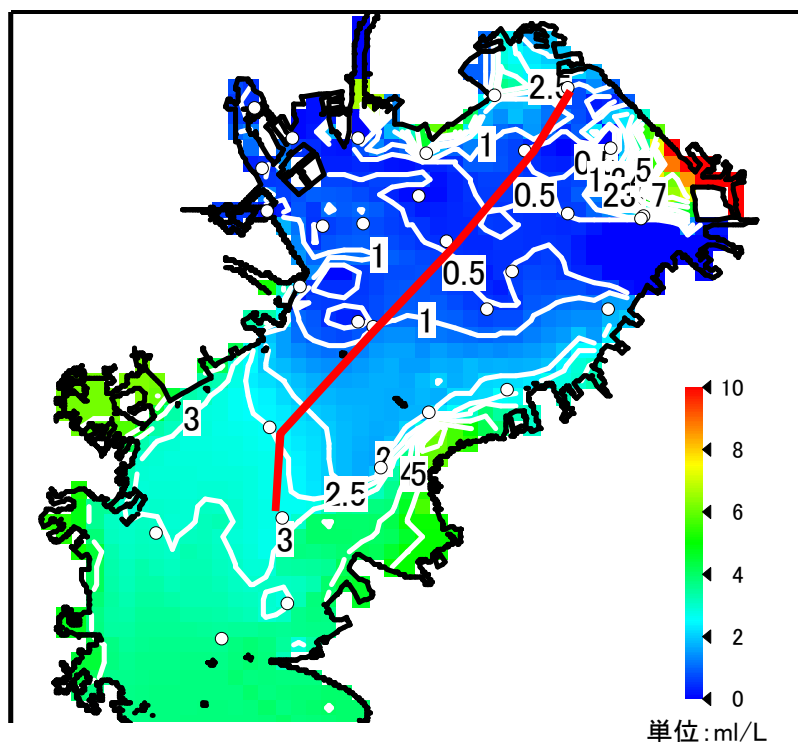


図1 底層の溶存酸素量分布(赤線は縦断ライン)

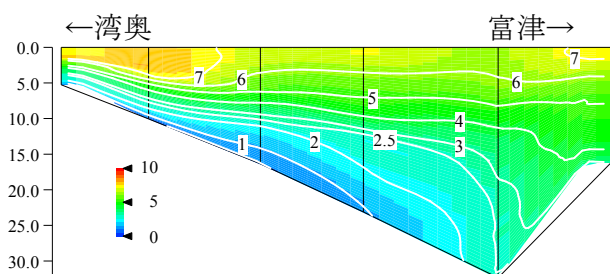


図2 縦断ラインでのDO鉛直分布

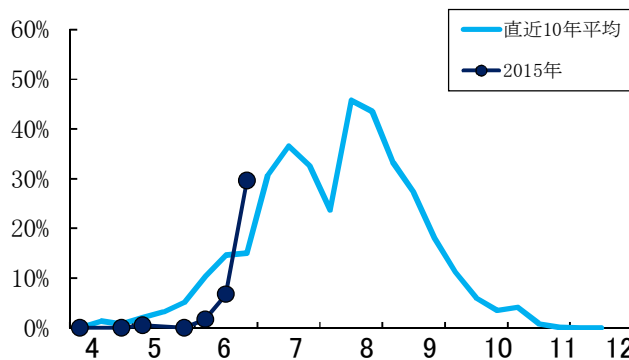


図3 貧酸素水塊の規模
(左図で貧酸素水塊(2.5ml/L以下)が占める割合)